

平成30年度 土砂災害防止功労者表彰一覧

【個人】

推薦団体	氏名	表彰基準	概要
新潟県	丸井 英明 国立大学法人 新潟大学名誉教授	(4)警戒避難体制の整備	・オーストリアに留学(昭和58年～平成元年)し、ヨーロッパにおけるハザード・ゾーニング等について研究され、オーストリアにおける連邦森林法(土地利用を制限するため1975年に制定)を日本へ紹介し、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」の制度設計に多大な貢献。 ・これまでの研究成果や、専門知識を基に、蒲原沢土石流災害(H8)、新潟県中越地震(H16)等の災害時に、災害発生直後から現地調査を実施し、公的な委員として国や地方公共団体等へ技術的な提言を実施し砂防行政に貢献。

【団体】

推薦団体	団体名	表彰基準	概要
青森県	ふるさとが大好き会	(5)土砂災害防止施設等の美化・清掃	・H23から7年間継続的に、むつ市大畑町二枚橋地内の下狄(しもえぞ)川砂防堰堤を中心とした約400mの区間で、砂防公園(「わくわく親水広場」)や魚道等の草刈り作業及び清掃活動を実施し、土砂災害防止施設の維持管理に貢献。
京都府	京都府砂防ボランティア協会	(3)土砂災害防止思想の普及	・H19年から10年以上にわたって継続的に、地元小中学生を対象として砂防学習会【土砂災害を学ぼう】を実施し、土砂災害防止思想の普及に貢献。
大分県	特定非営利活動法人 大分県砂防ボランティア協会	(2)二次災害の防止	・豊後大野市朝地町綿田地区において発生した大規模な地すべり災害(H29.5)の際、県の危険箇所点検の依頼により、斜面や構造物の点検を迅速に実施。 ・九州北部豪雨(H29.7)の際、協会は、速やかに被災地域へ調査員を派遣し、急傾斜地崩壊危険箇所等の緊急点検を実施し、がけ崩れの発生や予兆などの異常を確認。 ・台風18号(H29.9)の際、協会は、特に被害が大きかった津久見市に会員を派遣し、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所等の緊急点検を実施。その結果、楠屋川等の上流で不安定土砂の堆積を確認するなど異常を発見。 これらの調査結果により、県、市は適確かつ迅速に被災地域の実態を把握し、緊急的な土砂災害対策や警戒避難体制の構築などに大いに役立てられ、二次災害防止に貢献。
北陸地整	特定非営利活動法人 神通砂防	(3)土砂災害防止思想の普及 (5)土砂災害防止施設等の美化・清掃	H16年設立以来13年間以下の活動を実施し、砂防行政に貢献。 ・地域住民や観光客等地域の防災意識を高める活動として (1)「砂防とは何か」を学ぶ「砂防学習村ツアー」の実施(年1回) (2)広報誌「NPO神通砂防ニュース」の定期発行 (3)一般の方や地元の小・中学校生徒を対象に土石流や雪崩、地震等の自然災害をわかりやすく学ぶ講師を招いた講演会を開催(年1回)等を実施 ・土砂災害防止施設における美化・清掃として、 (1)草刈りや特定外来植物(オオハongo草)の除去活動の実施(年1回) 「しのぶ砂防堰堤」「たから流路工」等の砂防設備及びその周辺の草刈り等の実施 (2)村内クリーン大作戦の実施(年2回、毎回)
北陸地整	株式会社傳刀組	(4)土砂災害防止事業の推進 (7)現場での開発	・無人化施工の技術開発 平成20年度よりブロック据付やコンクリート打設等について、すべての作業工程を無人化できるような、コンクリート打設うち継ぎ目処理として行うレイタンス処理も対象とするなど、有人施工と同等な細かな作業も行えるよう7年かけて開発・改良してきた。 ・土石流監視技術開発 平成9年度から有人監視とワイヤーセンサーを組み合わせた警報システムを実施し、さらに平成20年度からは霧で視界不良の土石流発生上流域の状況の中で、土石流を検知するために振動センサーを活用した警報システムを開発・改良してきた。本システムによる警報は、蒲川流域内の工事関係者で構成される蒲川工事安全協議会の会員に配信され、本システムが確立(H21～)されてからは建設機械や作業員への被害が発生していない。
中部地整	21世紀与田切ふるさと の森と川づくりネット ワーク	(5)土砂災害防止施設等の美化・清掃	・国土交通省天竜川上流河川事務所が天竜川右支川与田切川において進めている砂防事業の際に整備された砂防林(※)等において、H22から7年間継続的に、下草の伐採や清掃活動等を実施し、土砂災害防止施設等の維持管理に貢献。 ※H22からは、当該清掃等の活動により良好に管理された砂防林等において、地元小中学生やその親などを対象として「よたつ子と遊ぼう(トレッキングツアー)」の企画・運営を行い、当該地を地域活性化につなげるとともに、コースに砂防設備の見学を取り入れ、楽しく土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めることができる活動を行うなど、維持管理に工夫を取り入れている。
四国地整	四国山地砂防ボランティア協会	(3)土砂災害防止思想の普及 (6)土砂災害防止施設等の点検等	・土砂災害防止思想の普及活動 (1)H15から8年間継続的に、地域住民や地元の防災関係者、コンサル業者等の防災意識を高め地域防災力の向上を図るため「土砂災害防止講習会」を開催 (2)H28年から継続的に、次世代を担う小学生を対象に土砂災害やその防止について理解や感心を深めてもらう目的で四国山地砂防事務所が毎年6月に開催している砂防学習会の運営支援実施 ・土砂災害防止施設、溪流、斜面等の点検監視 H23年から6年間継続的に、南海トラフ巨大地震等による大規模・同時多発的な土砂災害発生を想定した砂防施設等の施設点検を実施 施設点検で得られた結果は、四国山地砂防事務所へ報告・情報共有され、健全な砂防施設の機能維持に役立てられている。結果により、要施設補修箇所とされた箇所については、設計・施工に関する知識・経験に基づいた補修方法、工事実施に関する助言を実施している。

表彰式は平成30年6月6日(水)に徳島県徳島市で開催する土砂災害防止「全国の集い」で実施します。